

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	情報化やグローバル化が進展し、人々が今まで経験をしたことのない社会を生き抜く資質・能力を育成するために、自ら考える力や自ら判断する力を身に付けるとともに、それらを活用する能力の向上を図る。	① 基本的・基礎的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、生徒一人ひとりの多様な背景や学習ニーズをふまえ、主体的に学びに向かい、自ら考え、判断し、表現する力を育成する。また、多様性を尊重した包摂的な学びの実現を通して、協働的に学び合いながら、資質・能力の向上を図る。	① 公開研究授業、指導と評価の計画の改善、生徒による授業評価を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を組織的に推進する。教職員相互の授業見学期間の設定や協議の充実により、指導方法や支援の在り方を共有し、教員の授業力向上を図る。生徒の多様な背景に応じた指導の工夫 (ICT活用、柔軟で質の高い学びの実施等) を進め、包摂的な学習環境の整備を行う。	① 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善が組織的に行われ、生徒が自ら考え、判断し、表現する力を身に付けることができたか。職員間で授業実践や指導方法の共有が進み、授業力向上につながる取組が継続的に行われたか。生徒一人ひとりの多様なニーズに応じた指導が行われ、包摂的な学習環境が実現できたか。ICT活用や協働的な学びを通して、学びの質の向上が図られたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	生徒一人ひとりの個性、学校や家庭、地域で生徒を取り巻く環境を踏まえたきめ細かな生徒指導・支援を行う。	① 日常生活や学校行事を通じて生徒の主体性・積極性を育成するとともに、生徒の生活習慣の確立や規範意識の向上を支援する指導を行い、安心・安全な環境の整備に取り組む。 ② 生徒会行事や委員会活動、部活動を通じてリーダーを育て、生徒の主体性・積極性を育む。また、生徒相互の個性や多様性を認め合い社会の一員としての意識を高め、自らの行動が社会貢献につながることを実感できるよう支援する。	① 行事や部活動の中で、積極的に声をかけ、主体的・積極的な取り組みの手助けを行う。また、相談窓口の設置やアンケートを実施し、生徒の困り感の早期発見に努め、支援を行う。 ② 生徒会本部役員をはじめ、各委員会や部活動のリーダーを育成する。リーダーを中心に生徒自身が主体的に企画・運営する行事、活動を推進し、持続可能な組織運営となるよう必要な支援を行う。また、地域社会と連携した活動を積極的に行うことで、生徒が地域社会とのつながりを意識し自らの行動の意義を感じられるようにする。	① 行事や部活動等が生徒主体で運営出来ているか。相談窓口やアンケートの結果から、生徒の困り感の早期発見に努め、チームとして対応しているか。 ② 生徒会議を開催し、リーダーを中心に生徒が主体的に行事や活動を企画・運営できているか。行事が継続的・効果的に実施できる仕組みが構築されているか。地域とつながる活動を通じて生徒の社会的な視野が広がっているか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生涯にわたって、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るかを考えさせ、自己実現できるようにキャリア教育を充実させ、進路指導・支援を行う。	①ICTを活用した自学自習の定着を基盤とし、外部試験を軸とした学習の振り返りと改善を促進するとともに、外部講師による体系的なキャリア教育と連動させることで、生徒の主体的な学習改善と進路選択につなげる。	①各種テストを軸に課題配信とWEB 振り返りによる学習サイクルを確立し、結果分析・再学習・講演会を連動させて、学習と進路を結び付け主体的な進路選択につなげる。	①学習サイクルの定着を基盤に、課題把握から学習改善へつなげ、自学自習に主体的・継続的に取り組みながら、学習と進路の関連を理解し、自らの進路を具体的に考え説明できているか。					
4	地域等との協働	学校運営協議会や保護者、地域の関連機関等と連携し、学校の教育活動をさらに充実させる。	①総合的な探究の時間等で地域・外部機関・地域の企業等との連携を拡充することで、生徒の視野を広げるとともに学びを深める機会を充実させる。	①外部機関の講師による講演会等を通じて、生徒が国際社会の課題を知り当事者意識を持って、「問い」をたてる力を養うとともに、課題解決に必要なことを考えることができる活動を行う。	①探究学習や講演会等を通じて、生徒が自ら課題を見つけるとともに、ICT 機器を活用して情報収集・分析・情報発信の手法を身につけている。					
5	学校管理 学校運営	事故・不祥事の防止に努めるとともに、生徒が安心して学習や様々な活動に取り組めるように、安全な環境を整備・維持する。	①不祥事を防止するために、全ての職員が主体性を持って、校内研修の成果を共有し、職務遂行にあたる。 ②風通しの良い職場環境をつくりだす。	①不祥事防止職員研修を計画的に実施し、事例研究の知識をもとに、職務を遂行し不祥事を防止する。 ②管理職が率先垂範、し、職員同士の声かけを促し、コミュニケーション豊かな職場をつくる。	①不祥事防止職員研修の成果を共有し、不祥事を防止したか。 ②コミュニケーション豊かな風通しの良い職場となったか。					